

第7年度 すぎなみ 炭焼き塾 くろすけ 活動実績

《第7年度（2023.12～2024.11）の活動概要》

炭焼き体験会 2024： 講師との事前検討会を設定し、種々の改善点を確認の上実施した。

依然改善の余地があるものの、**概ね良好**な炭を焼くことが出来た。

焼き上がった炭はすべて参加者へ配布した。

みどりのイベント 2024： 前年の竹の皮コースターづくりに代わって、新たに**竹団扇**づくりを提供した。予想以上の人気で、準備した 100 本がほぼ午前中で出払った。

竹穂垣の更新： 南ブロック南通路側を更新、北ブロック道路側を更新中。

ツリー・MAPを作成し、第2花壇側に設置した。

花咲かせ隊の活動： 第1花壇の竹柵を更新した。公園を訪れる人々の目を楽しませており、花木園、草木の小道と併せて、近隣住民から感謝の声が相次いでいる。

すぎなみ炭焼き塾くろすけ の活動は昨年、東京都公園協会賞で一定の評価がされたが、以降、活動の領域拡大よりも、**品質の向上と、技術の継承**を課題として活動を行っている。

I. 『すぎなみ炭焼き塾』の活動

1. 落ち葉感謝祭 2023 への参加（2023.12.2）

飾り炭体験と竹の皮容器づくりを例年どおり提供した。

2. 第11回 炭焼き体験会の開催（2024.3.2～3）

- ① 講師との**事前検討会**を実施：炭焼窯の設置方法等、講師と見解をすり合わせた。
 - ② 竹炭材の準備：前年は乾燥が十分でなかったため、**伐採時期を約1か月早めた**。
 - ③ 竹煙突：柏の宮の竹林からは適材が得られにくくなったため、**宮前の竹**で製作して搬送した。長さは6mで製作したが、トラック搬送の制約から1m弱カットした。次回は**5m**で製作する。
 - ④ 当日の火入れ時刻を早めるため、窯設置穴掘り時に窯を設置し、**前面の養生**まで行った。
 - ⑤ 木炭材を柏の宮公園に搬入後、雨に当たったため、一部不完全燃焼となった。
- ※ 竹煙突と窯からの**垂直菅との接続方法、煙突角度**が依然課題として残った。

3. みどりのイベント 2024 への参加（2024.5.26）

- ① 植木応援団と連携し**竹細工**を提供した。竹材料は宮前公園の竹を使用。
- ② 前年の竹の皮のコースター・容器づくりに変えて、**竹団扇の絵付けと紙貼り体験**を提供した。絵付け用 70 本、紙貼り 30 本 → 次回は 150 本を準備予定
- ③ 炭焼き体験会開催状況や宮前公園竹林の循環再生の取組のパネル展示
- ④ 『みどりの基金』へのカンパは区からの指示により中止。
団扇づくり体験および木炭・竹炭・木酢液の配布については**無償提供**とした。
- ⑤ 竹製の3連式の**鹿威し**を設置。子供たちには人気があった

II.『宮前公園育て組』の活動

1. 竹林の循環更新

- ① 今年には孟宗竹が多く発生した。
 - ・北ブロックの発生は35本（前年16本）
中央部の空間では2本ほど発生したが、引き続き養生が必要。
 - ・南ブロックの発生は40本（前年6本）
西側の古くなったエリアにも一定の発生があり、更新がすすんだ。
 - ・真竹林は50本程発生したため、年数が経った竿を相当数伐採した。
さらに間伐を行い、林間を整理する必要あり。
- ② 間伐材の利用：竹垣用材、竹炭材、門松材料、竹細工材として間伐・更新を行い、林間の整備が進んだ。北ブロックは美竹林に近い景観となっており、南ブロックも西側が再生しつつあり、竹の子狩りに提供している東側も今後、更新を進めて行く。
- ③ 竹穂垣の更新・補修
南ブロックの南通路側を更新（1月～3月）、北ブロック道路側を更新中。
竹穂垣の支柱が緩くなった個所等を随時補修し、竹穂の補充も行った。
- ④ 和風庭四ツ目垣の更新：みボ杉メンバーの技術習得のため、「綾掛けイボ結び講習」を経て7月と8月、2度に亘り、四ツ目垣の更新を行った。
- ⑤ 門扉の更新
花木園の門扉を更新（5月）
- ⑥ 林床整備：切り株の除去、下草刈り、施肥などを随時行った。

2. 竹・花木園への植栽

- ① 春コーナーにトキワマンサク白と赤を植栽した。
- ② 夏コーナーのヤマボウシを園外に移植し、ハナミズキ赤を植樹した。
花木園に植栽を進めて4年目となり、苗木も成長して景観が充実して来たが、木を余り大きくしないため、**適宜剪定**を行っている。
※ 今年美しく咲いた木：玄海ツツジ、紅梅、ハナズオウ、久留米ツツジ、ボタン紅・白、シャクヤク、クチナシ、ハコネウツギ、バラ、ムクゲ紅、サルスベリなど
※ 梅の防除策が課題となっている。
- ③ 銘竹コーナー：布袋竹の新竹が多く発生し、3本をみみのオアシス外へ移植した。
また、切り株の整理を行い、4本立ちとした。
黒竹も3年目となり、新竹が多く、移植を検討中。
スズコナリヒラチクも2年目であるが、新竹が発生し、手狭になっているので、植栽スペースを広げることを検討中。

3.『宮前公園 花咲かせ隊』第4年度の活動

- ① 春花壇定植（12月7日）、夏花壇定植（5月30日）、秋花壇定植（9月26日）
- ② 夏季の水遣り体制
今年も7月～9月上旬に、週3回程の水遣りを基本的に2人体制で実施した。

4. 各種の活動

- ① 門松づくり：前年に引き続き「笑い入りの 斜め切り（そぎ）」と「水平切り（寸胴）のセット」2セットを製作し、杉並区役所の南玄関と西玄関に設置した。
- ② 中・低木の剪定：年間を通じて実施。
- ③ みボ杉参加者の受け入れ：みボ杉の参加者を月1回の活動に**定期的**に受け入れている
毎回5名程度が参加。

（みボ杉を対象とした講習活動）

- ・竹の伐採・枝打ち ・シュロ縄での**男結び**（綾型イボ結び）
- ・低四ツ目垣の製作 ・竹穂垣の製作（半割、支柱立て、胴縁の取付け、竹穂の差し入れ等）

- ④『宮前公園樹木MAP（ツリー・マップ）』を作成し、芽吹き花壇横に設置した。

III. 教育関連機関・グループへの協力

荻窪小学校関係者親子のグループが開催する「竹の子狩りイベント」への場所提供

（4月28日）約90名参

今年は竹の子の発生が多く、前年より広いエリアを提供できたが、次年度は裏年に当たる。

IV. 会員の状況

登録会員数 33名： 新規加入3名、休眠会員4名

定例活動参加29名（Av.17、Max22）、炭焼き体験会のみ参加2名

※ みボ杉から平均5名が活動に参加している。

以上

第8年度 くろすけ 活 動 計 画 (案)

《全体の方針》

活動領域を維持しつつ、品質を高める。また、技術の継承を行って行く。

I. 『すぎなみ炭焼き塾』の活動

1. 落ち葉感謝祭2024（2024.12.7 開催）へ参加する。
飾り炭体験と竹の皮細工を提供。
2. 第12回 炭焼き体験会をみどり公園課と連携して開催する。
実施予定日2024年3月1日（土）～2日（日）（雨天順延）
炭焼き、飾り炭体験、椎茸菌打ちを提供。
3. みどりのイベント2025（2024.5月末 開催予定）へ参加する。
団扇づくり（絵描き・紙貼り）の提供、植木応援団と連携して竹細工を提供する。

II. 『宮前公園育て組』の活動

1. 竹林の整備

① 竹林の循環更新

林間整備はかなり進んで来ている。各ブロックの年平均新生竹の発生を 20 本として、概ね 6 年程で循環更新出来ることとなる。新生竹に年号を記載しているが、2018 年産もそろそろ伐採時期に差し掛かっていると見て良い。

・林床整備：切り株の除去、下草刈り、施肥を行う。

② 真竹林：年数が経過し褐色化した竹の伐採は進んでいるので、今後は細い竹を伐採する。

③ 竹穂垣の更新

4 年以上経過して劣化した個所を順次更新する。（南 B 東側、北 B 中央通路側）

2. 竹垣展示圃

① 傷んだ個所の補修を行う。（外周垣の傘縁を取り換える等）

② 四ツ目垣の更新を検討する。

3. 樹木の剪定と花木の育成

① 花木園の樹木を適正な大きさに保つよう適宜剪定を行う。

② 公園内中・低木の剪定を行う。

III. 『宮前公園 花咲かせ隊』の活動

1. みどり公園課から花苗の供給を受け、年3回花壇の入れ替えを行う。
2. 『草木の小道』で山野草を育成する。
3. 腐葉土づくり：落ち葉溜めで腐葉土をつくり、花壇・花木園で活用する。

IV. 地域の活動との連携

教育関連機関・グループへ竹材や竹林活用を提供する。

以上